



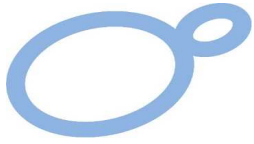
G空間関連 令和5年度政府予算案の概要

【単位:百万円】

金額は関連予算含む。十萬円の位(小数点第一位)を四捨五入。
施策単位で額を確認できるものについてのみ集計。

省庁名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 政府予算案	主 な 施 策
内閣官房・ 内閣府 (警察庁含む)	17,295	17,068	総合防災情報システムの整備と運用、 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進、 小型衛星コンステレーションの構築加速のための基盤技術の開発 やアンカーテナンシーを通じた利用拡大 ほか
総務省	181	102	緊急消防援助隊動態情報システムの運用、 ヘリコプター動態管理システムの整備・運用 ほか
法務省	4,965	5,173	筆界特定の推進、登記所備付地図作成作業、 衛星測位を活用したGPS測量推進事業
財務省	13	13	国有財産情報公開システムの運用
文部科学省	14,383	16,752	地球観測衛星の継続的開発、利用実証等、 国際的な宇宙開発利用の進展と人材育成のためのプログラム ほか
農林水産省	2,486	2,312	農林水産省地理情報共通管理システムの開発、 森林資源デジタル管理推進対策、 次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化 ほか
経済産業省	2,359	2,751	衛星データ利用環境整備・ソリューション開発支援、 産業DXのためのデジタルインフラ整備事業、 衛星通信等の技術を活用した運航管理技術の開発 ほか
国土交通省	23,686	23,690	i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進、 都市空間情報デジタル基盤構築支援事業、 電子国土基本図整備経費、 地籍調査の推進、 海域の地理空間情報の整備・提供 ほか
環境省	5,005	5,640	生物多様性情報システム等の整備・活用推進、 再生可能エネルギー情報提供システム「REPOS」、 GOSATシリーズによる地球観測事業等 ほか
防衛省	56	656	災害対処等に資する地理空間情報に係るデータの整備、 自衛隊の災害派遣活動における災害用ドローンの活用、 自衛隊による衛星測位の利用 ほか
総 計	70,429	74,157	
対前年度比		1.05	

(注) 四捨五入の関係で各欄計数の和と総計が一致しないところがある。



G空間関連 令和4年度補正予算の概要

【単位:百万円】

金額は関連予算含む。十百万円の位(小数点第一位)を四捨五入。
施策単位で額を確認できるものについてのみ集計。

省庁名	令和4年度 補正予算額	主 な 施 策
内閣府 (警察庁含む)	8,636	総合防災情報システムの整備と運用、 準天頂衛星システムの開発加速等、 小型衛星コンステレーションの構築加速のための基盤技術の開発 やアンカーテナンシーを通じた利用拡大 ほか
総務省	77	ヘリコプター動態管理システム更改 ほか
文部科学省	3,819	地球観測衛星の継続的開発、利用実証等、 地球環境データ統合・解析プラットフォーム事業
農林水産省	8,085	農林水産省地理情報共通管理システムの開発、 スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト ほか
国土交通省	21,470	i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進、 都市空間情報デジタル基盤構築調査、 不動産IDの利活用・情報連携促進、 歩行空間における自律移動支援の推進、 地図情報等の整備による被害の低減対策、 無人航空機等を活用したラストワンマイル配送調査・実証事業 ほか
環境省	2,101	GOSATシリーズによる地球観測事業等 ほか
総 計	44,188	

(注)四捨五入の関係で各欄計数の和と総計が一致しないところがある。



G空間関連 令和5年度政府予算案及び令和4年度補正予算の概要(主要施策)

地理空間情報活用推進基本計画に基づき、準天頂衛星システムの7機体制の構築に向けた開発・整備、関係府省庁連携による防災体制の拡充・強化など、補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、G空間プロジェクトの効果的推進を図る。令和5年度予算案の総額は74,157百万円(前年予算比1.05倍)、令和4年度補正予算の総額は44,188百万円となっており、概要は以下の通り。

自然災害・環境問題への対応

○統合型G空間防災・減災システムの構築の推進

- ・総合防災情報システムの整備と運用
【内閣府:270百万円の内数、(令和4年度補正)1,949百万円の内数】
- ・実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進
【内閣府:16,747百万円、(令和4年度補正)8,048百万円】
- ・小型衛星コンステレーションの構築加速のための基盤技術の開発やアンカーテナンシーを通じた利用拡大
【内閣府:2,300百万円の内数、(令和4年度補正)10,750百万円の内数】等



総合防災情報システム

○地球観測衛星による気候変動等の地球規模

課題解決への貢献

- ・地球観測衛星の開発や運用に関する経費
【文部科学省:10,671百万円、(令和4年度補正)3,610百万円】
- ・温室効果ガス観測技術衛星の開発や運用に関する経費
【環境省:4,593百万円、(令和4年度補正)2,017百万円】



温室効果ガス・水循環観測技術衛星(GOSAT-GW)

産業・経済の活性化

○スマート農業の加速化などデジタル技術の利活用の推進

- ・スマート農業社会実装加速化
【農林水産省:600百万円、(令和4年度補正)4,400百万円】
- ・農林水産省地理情報共通管理システム(eMAFF地図)の開発
【農林水産省:432百万円、(令和4年度補正)2,414百万円】



ドローン等を用いた
トウモロコシ収量予測システム

○i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進

- ・i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進
【国土交通省:1,668百万円、(令和4年度補正)10,729百万円】



ICT土工

○衛星データ利活用促進事業

- ・衛星データ利用環境整備・ソリューション開発支援
【経済産業省:390百万円】

豊かな暮らしの実現

○「空間ID」を含む3次元空間情報基盤の整備

- ・産業DXのためのデジタルインフラ整備事業
【経済産業省:2,400百万円の内数】

○3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化

プロジェクト「PLATEAU」

- ・デジタルインフラとしての3D都市モデルの構築・利活用促進
【国土交通省:2,100百万円、(令和4年度補正)1,500百万円】



地下構築物等を活用した3D都市モデルの
データ作成実証、ユースケース開発等



空間ID
プロトタイプ(※)

※この他、関係する次期SIP課題「スマートモビリティプラットフォームの構築」において、地理空間情報の活用等を検討中。【内閣府:55,500百万円の内数】

(※)Maxar|Source: Airbus, USGS, NGA, NASA, CGIAR, NLS, OS, NMA, Geodastystyrelsen, GSA, GSI and the GIS User Community|国土交通省都市局都市政策課

地理空間情報基盤の継続的な整備・充実等

○高精度測位時代に不可欠な位置情報の共通基盤「国家座標」の推進

- ・電子国土基本図、基盤地図情報、3次元点群データの整備等
【国土交通省:1,217百万円、(令和4年度補正)2,974百万円】
- ・電子基準点の運用による位置情報サービスの発展への貢献等
【国土交通省:858百万円、(令和4年度補正)1,263百万円】



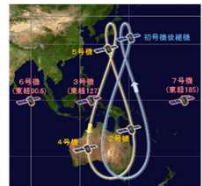
GNSS衛星の位置情報の
安定的な推定・提供

○準天頂衛星システムの開発・整備及び測位能力向上の推進

- ・実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進
【内閣府:16,747百万円、(令和4年度補正)8,048百万円】(再掲)

○地理空間情報活用人材の育成・交流支援

- ・地理空間情報等を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード」の開催
【内閣官房:21百万円の内数】



準天頂衛星システム7機体制